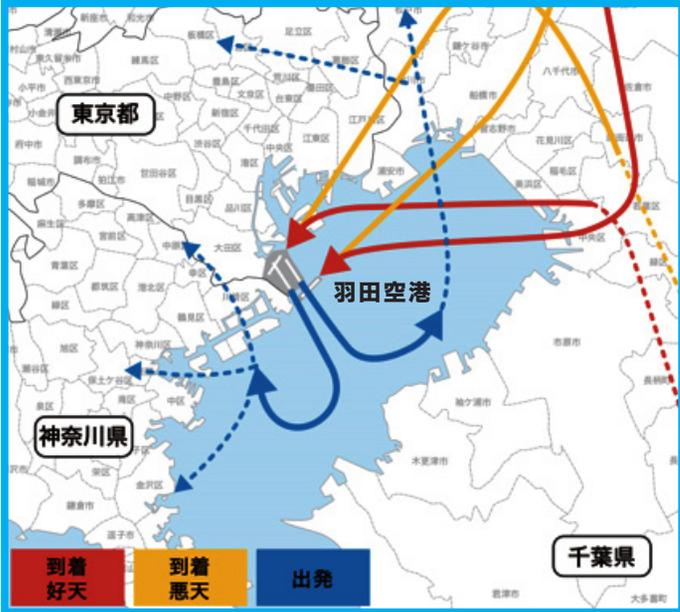


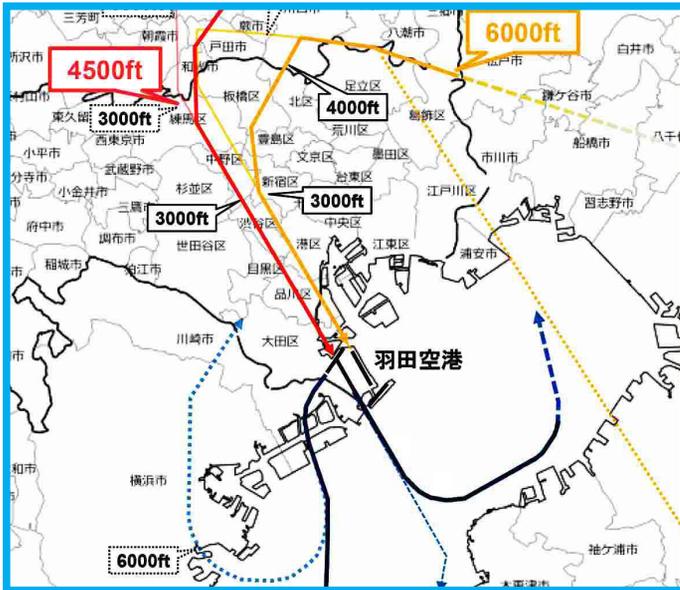
# 豊島区上空に航空機ルート計画

## 国の羽田空港増便計画 豊島区は毅然とした態度で反対すべき

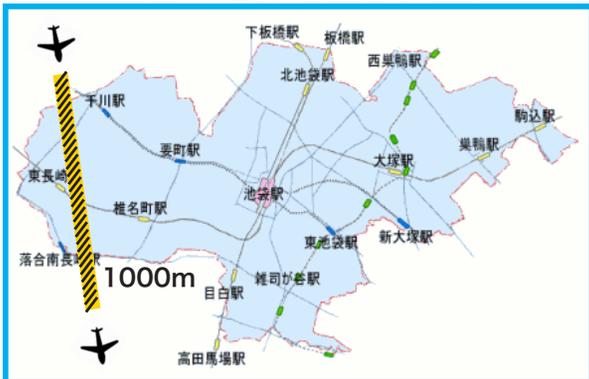
現行の海上を主体としたルート



国が進める23区のルート



豊島区上空を通過するルート



### 【今年、起きた航空機事故】

- 1月 トラブゾン空港の滑走路から崖に転落
- 2月 ドモジエドヴォ空港で離陸直後に墜落
- 2月 テヘラン空港発の便が墜落
- 3月 トリブバン空港で着陸失敗し爆発炎上
- 4月 エンジンが爆発しフィラデルフィア空港に緊急着陸
- 5月 ホセマルティ空港で離陸直後に墜落

安倍政権は「アベノミクス第二の矢」として公共事業予算を大幅増額し東京五輪成功を理由に東京大改造を進めています。それに伴い訪日外国人客の誘致を成長戦略に位置付け、現在の2千万人から2020年に4千万人、2030年に6千万人にする目標を掲げています。

民泊、ライドシェア等の規制緩和と共に、羽田空港国際線の増便を2020年に実施することで、日本の経済社会を維持発展させるとしています。実際は大企業が潤う観光政策にすぎません。

### ▼現行の東京湾ルートに至った経緯とルール

23区などの都心ルートは

増便計画は現行1時間あたり80便の離着陸数を90便に増やすものです。東京湾上空は混雑しているため23区側から2本のルートで着陸させます。

1本は豊島区を通過し南風の好天時は15時から19時の4時間で120機。1時間あたり30機。2分に1機が宅地、保育園、学校、高齢者施設を、千メートル程

の低空で飛び交うことになり不動産価値も下がるなどします。天候の影響、着陸のやり直し迂回などルートは大幅に変わります。

外国会社については把握されが8年間で451件です。

### ▼数多くの航空機が23区を飛び交うことに

様々な問題が発生します。国はいずれも大したことではないとしています。

現在、江戸川区が着陸時ルートになっていますが騒音苦情が後を絶ちません。CO2排出量は膨大で大気汚染の問題が深刻です。特に新生児、高齢者、呼吸器疾患や肺炎を患っている人たちへの影響は重大です。

落下物は全国で確認されている国内会社の部品脱落が8年間で451件です。

私がこの問題を本会議一般質問で3年間毎行ったことから、豊島区は態度を改め、議会質疑や住民の声を伝えるなど国に働きかけています。

### ▼墜落物・騒音・大気汚染 墜落などの問題が

命と安全が何よりも大事

区議団のアンケート調査では賛成者133名に対し、反対者は1488名と圧倒的多数でした。にもかかわらず豊島区は計画を容認しています。

私がこの問題を本会議一般質問で3年間毎行ったことから、豊島区は態度を改め、議会質疑や住民の声を伝えるなど国に働きかけています。

### ▼経済優先よりも命と安全が何よりも大事

区議団のアンケート調査では賛成者133名に対し、反対者は1488名と圧倒的多数でした。にもかかわらず豊島区は計画を容認しています。

私がこの問題を本会議一般質問で3年間毎行ったことから、豊島区は態度を改め、議会質疑や住民の声を伝えるなど国に働きかけています。



日本共産党 区議会議員  
**森 とおる**  
 区役所控室 3981-1429  
 自宅 6912-0135  
 2018年 5月 22日発行